



三鷹市議会議員

だいじょうぶ。ともにあるこう。

(2023.1.1)

# 野村 のむら ようこ 羊子

と っ し ょ に つ く る 三 鷹 の 会 ニ ュ ー ス no.155



## 2023年は、未来につながる年へ

2022年は、政府の独断専横が目立ちました。ウクライナ戦争が勃発し、それに乗じて日本は米国と一体化した軍事国家へと舵を切りました。気候危機対策は不十分なばかりか、原発の規制緩和や新設まで言い出す始末。コロナ感染症対策でも、世界では収束しているのに、日本では危険性が指摘されているワクチン接種にばかり頼り、流行が収まりません。有害な農薬や食品への規制も緩和する方向で、世界の流れと逆行しています。一方で、税や社会保障の国民の負担額を増やし、物価高や低所得にあえぐ市民は疲弊するばかりです。そんな社会を反映してか、出生数は予測よりも早く年間80万人を割り込むようです。

本当は子どもが元気に育つ社会であってほしいですね。まずは子育ての経済的負担の軽減。そして、親が子どもに関わる時間的・精神的余裕の持てる働き方、子育て・教育に関わる人が人らしく働き暮らせる処遇などが重要です。ケアが必要な人全てに、その人にふさわしいケアが提供されてほしいですね。乳幼児、ティーン、障がいや疾病のある人、高齢者、ケアワークしている医療・看護・相談等のスタッフ、全ての人ケアされる必要があります。それを組み込んだシステムを社会で回していく。だから、今政府がやるべきことは、防衛費倍増ではなく、社会保障費倍増のはずです。不要な道路・ダムを造って国土を壊すのではなく、持続可能な社会にするための小規模な農林水産業者への支援こそが、防災対策にもなるのです。

私たち市民こそが、求める未来をきちっと夢見て、その夢に向かって歩を進めるビジョンを持つ必要があります。政府が迷走すればするほど、一步一步、足下から歩を進めていく。日々の暮らしと、国のまつりごとはつながっています。手探りであろうとも、みんなとっしょに歩むことで未来の希望へとつなげていきたいです。

野村羊子

### ■12月議会のトピック

#### ◆議会の個人情報保護条例、いのちが大事案を提案、否決。



市条例から議会が除外されたので、議会としての条例制定が必要となった。三鷹市議会も、改正された法を元にした全国市議会議長会に基づく条例提案を予定。それには賛成できないため、いのちが大事案を作成し議員提案した。

「権利の濫用」を追加しない。個人情報本人から直接収集する。差別につながる要配慮個人情報の収集は原則しない。利用等について個人情報保護委員会に諮問するなど市民の権利を保障するように、条文を追加修正した。

残念ながら、いのちが大事と共産党のみの賛成で否決。令和山桜会案が賛成多数で可決。

### ■個人情報保護条例全部改正

総務委員会で審議。

国の個人情報保護法「改正」でリセットされた三鷹市の先駆的な個人情報保護条例。基本的人権を守り、市民が権利行使するための条例が、企業等がデータを利活用できるようにするためのものに変えられた。

部長は「法令違反になると言われればできない。国とは4回も協議した」と答弁。名称は変更せず、目的の「市民の基本的人権を守る」は削除しないなど、努力の跡は見られる。

しかし、それ以上にも問題なのは「権利の濫用」条項を独自追加したこと。法の原理として明記する必要はないとされているにもかかわらず、目的に書いた人権を守ることに反し、自己矛盾でしかない。

いのちが大事と共産党のみ反対で、可決。

■**職員の給与と賞与引き上げ**；給与は初任給と20代のみ引き上げ。賞与は勤勉手当部分が増額で、非正規の会計年度任用職員は対象外。多摩のいくつかの市では独自に引き上げている。非正規職員も増額すべきと指摘し、労使合意があるので**賛成**。

■**市長・副市長・教育長と議員の賞与引き上げ**；勤勉手当はないのに引き上げるのはおかしいと**反対**。増額分、野村は市外団体に寄付する予定。



## ■補正予算第7号

7億2千万円余の補正額のうち、約5億円は国庫支出金返還で、ワクチン接種事業未使用分。1億円余公共施設の燃料費高騰分で、課題を指摘し**賛成**。

## ◆野村の一般質問

### ◆保育園のあり方

市は、老朽化する保育園は公設公営から民間の社会福祉事業団へ移管させる方向を示す。

保育園は国の公定価格で運営費が出る。その中の人件費は、公立や社会福祉法人立では70%前後の比率だが、株式会社立は50%前後と低い。その運営会社は黒字で高額な株主配当をしている。

保育の質は、従事者の処遇、経験によるところが大きい。市の保育は、市が責任を持って直接運営すべきと質すが、歯切れの悪い答弁だった。

### ◆生徒指導のあり方

「生徒指導提要」が改正され、子どもの権利が明記された。教師の同僚性が強調されている。どのように対応し、生活のきまり等の改正はするのか質問。改正を受けて、校長会で話しているとの答弁。

### ◆外環シールドマシンについて

1月には事業地の外へ掘進を始める。万が一の被害対応等について質す。事業者に要望書を提出し前向きな回答を得たとの答弁。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

★11/22, 23 外環中央JCT工事のオープンハウスと意見交換会。現地見学会は満員で参加不可。いずれも住所地等で入場制限。ランプ掘削のシールドマシンが1月中旬から事業地外、住宅地の下を掘削する。そのための説明会はあえてやらず、何を聞いて良いのかよくわからないオープンハウスでお茶を濁すのは姑息。意見交換会もただ聞き置くだけ。不安解消になっていない。大泉JCT本線トンネル、東名JCTのランプトンネルも住宅地掘削再開。

## ◆2022年第4回定例会12月議会

- 11月30日(水) 本会議(一般質問)
- 12月1日(木) 本会議(一般質問)野村登壇
- 2日(金) 本会議(一般質問・議案上程)
- 6日(火) 議会運営委員会
- 7日(水) 本会議(議案審議)
- 8日(木) 総務委員会(野村)
- 9日(金) 厚生委員会
- 12日(月) まちづくり環境委員会
- 13日(火) 文教委員会
- 14日(水)午前 外環特別委員会
- 14日(水)午後 駅前再開発・庁舎等特別委員会
- 15日(木)午前 調布飛行場特別委員会
- 15日(木)午後 天文台周辺まちづくり特別委員会
- 16日(金) 議会運営委員会
- 21日(水) 本会議(議案等採決)



■**福祉Laboどんぐり山条例**。介護の研究と人材育成の施設とする。在宅へのトレーニング・リハビリ施設として位置づけるミドルステイ施設は、簡単なコンロやユニットバスのみで、利用者や家族がどのように暮らすのか見えない。設置条例の前に既に大規模改修工事に入っていることも順序が逆として、**反対**。

■**大沢野川グラウンド指定管理者**の指定、**体育施設条例**に**反対**、**四小学童他指定管理者**の指定、**下連雀こども児童指定管理者**の指定に**反対**。

◆★野村提案意見書「原発運転期間「原則40年」規定の削除方針の撤回を求める意見書」、**否決**  
\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*

★12/22 いのちが大事市民の声を聴くつどい。野村は、「新都市再生ビジョン(仮)」、市の公共施設の建替・老朽化対策等の方針についてご報告。もっと身近なことを報告してとのご意見もあり。市民アンケート報告は後日。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No. 155  
〒181-0013東京都三鷹市下連雀3-33-7-401  
Tel:090-7254-2652 Fax:0422-72-2425  
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net  
Url: http://www.nomura-yoko.net  
ゆうちょ銀行:〇一九店(普)0335606

